



つくば市社協キャラクター
♥つくちゃん♥

社協通信

つくば

2022 11月号 No.113

大穂圏域版



発行 | 社会福祉法人 つくば市社会福祉協議会

〒300-3257 つくば市筑穂1丁目10番地4 TEL:029-879-5500 / FAX:029-879-5501

つくば市社協

検索

THE ORGAN OF TSUKUBA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

赤い羽根共同募金運動 が始まりました!



Art by nio © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

10月1日街頭募金 @山新グランステージつくば

今年も10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」がスタートしました。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響により、赤い羽根共同募金運動も活動の縮小を余儀なくされていましたが、今年は3年ぶりにつくば市において街頭募金を実施しました。今回の街頭募金は、10月1日に山新グランステージつくばにて実施。当日は茨城 YMCA の皆さんにも協力いただき、子どもたちの元気な声が店舗を訪れた多くのお客様の足を止めていました。

募金にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。お預かりした募金は、つくば市を始め茨城県内全域の地域福祉の推進のために役立たせていただきます。

今年で76回目を迎える赤い羽根共同募金運動は、皆様の善意と助け合いの精神に支えられています。社会的孤立や生活困窮、地域における様々なニーズ支援に役立てられるよう、引き続き多くの皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

ガチャガチャで募金ができます!



皆さん、「カプセルトイ募金」をご存知ですか? 1回100円でガチャガチャを回すと、ねば〜る君缶バッジなどの赤い羽根募金に関するグッズがもらえるだけでなく、**全額が赤い羽根募金に寄付される**というもの。つくば市共同募金委員会では、市民の皆様に広く関心を持っていただくこうと今年から導入し、街頭募金でも大活躍しました。

カプセルの中には、今しか手に入らない貴重なグッズが盛りだくさん。この機会に、楽しみながら募金してみませんか?

◀つくば市共同募金委員会事務局(大穂庁舎1階)に設置中!



社協からのお知らせ

Information

報告 善意の寄付 ありがとうございました

令和4年7月1日～令和4年10月15日 (順不同・敬称略)

匿名3件	145,429円
------	----------

●社協では、年間を通じて寄付を受け付けています。

個人の場合は、所得税・個人住民税控除の対象となります。

クレジットカードを利用した寄付を受け付けています!

つくば市社協では、クレジットカードを利用した寄付(オンライン決済)を随時受け付けています。

手続きはインターネット上からとなりますので、つくば市社協のホームページをご覧ください。



つくば市社協 寄付 検索

【問合せ】法人運営室 TEL 029-879-5500

募集 登録ヘルパー随時募集中!

直行直帰型の登録ヘルパーとして、家事援助、身体介護などの在宅福祉サービスの仕事をしてくださる方を募集しています。1日のうち2～3時間、短時間の活動も可能です。あなたの空いている時間で働いてみませんか?

業務内容や賃金の詳細は、お気軽にお問合せください。

【資格要件】介護職員初任者研修修了者もしくは介護福祉士

【応募方法】電話連絡の後、履歴書と資格証明書を持参

【申込み・問合せ】在宅福祉係 TEL 029-879-5923

案内 各種「悩みごと相談」をご利用ください

暮らしの中での様々な困りごとに対し、面接による相談を実施しています。相談は、すべて無料です。事前予約が必要となる相談もありますので、まずはお問い合わせください。

相談場所：つくば市社会福祉協議会 本部
(筑穂1-10-4 大穂庁舎内)

弁護士による相談

金銭貸借や離婚等の日常生活における法律上の問題

【日時】第2・3・4(木) 14:00～16:00

【相談員】弁護士

【予約】要

【TEL】法人運営室 029-879-5500

司法書士による相談

遺言や相続、成年後見制度等に関すること

【日時】第3(水) 14:00～16:00

【相談員】司法書士

【予約】要

【TEL】法人運営室 029-879-5500

子育て・子どもの悩み相談

不登校や引きこもり、子どもとの関わり等に関すること

【日時】第1・3(金) 13:00～16:10

【相談員】臨床心理士

【予約】要

【TEL】ファミリーサポートセンター 029-879-5504

高齢者・障害者のためのパソコン相談

パソコン操作やインターネット接続等のパソコンに関すること

【日時】第1・3(土) 10:00～12:00、13:00～15:00

【相談員】つくばパソコンボランティア

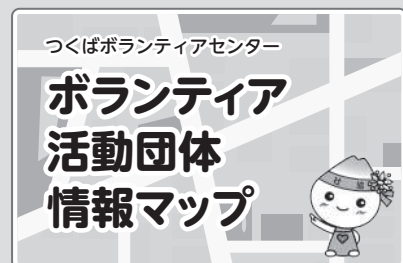
【予約】不要

【問合せ】ボランティアセンター 029-879-5898

案内 つくばボランティアセンター 「ボランティア活動団体情報マップ」を作成しました!

ボランティア活動に興味のある方やボランティア団体と連携を持ちたいといった方々が、自分の住む地域や活動内容から市内のボランティア情報を見つける手段として、「ボランティア活動団体情報マップ」を作成しました。マップでは、地図上でボランティア団体の活動拠点が確認でき、どのような分野の活動を行っているかの情報も掲載しています。

これからボランティアを始めたいと考えている方ももちろん、活動の幅を広げたいと考えている方にとってもご活用いただけるものとなっていますので、ぜひ一度ご覧ください。



▲ダウンロードはこちらから

①「ボランティア活動団体情報マップ」は、つくば市各窓口センターや地域交流センターのほか、市内郵便局等に設置してあります。

ボランティア団体の詳細は・・・

マップに掲載されている各ボランティア団体の活動内容を知りたい方は、こちらのQRコードを読み込んでください。つくばボランティアセンター登録団体ガイドで、各団体の活動時間や活動内容がご確認いただけます。



※マップの番号と登録団体ガイドの番号は異なりますので、ご注意ください。

【問合せ】ボランティアセンター TEL 029-879-5898

◆「社協通信つくば」はホームページからもご覧になれます。また、目の不自由な方のために音訳版は「つくば市朗読ボランティア けやきの会」、点字版は「並木点訳の会」のご協力を得て作成しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

この広報紙は市民の皆様から寄せられた社協会費、共同募金の配分金により発行しています。この印刷物は再生紙を使用しています。

ささえあい・つくば



地域の皆様とともに支えあい活動や地域づくりをすすめるための情報紙「ささえあい・つくば」です。「ささえあい・つくば」では、「人と人との支えあい」の活動や生活支援コーディネーターの活動内容を皆様に紹介し、支えあいの文化を未来へ紡いでいきたいと思います。

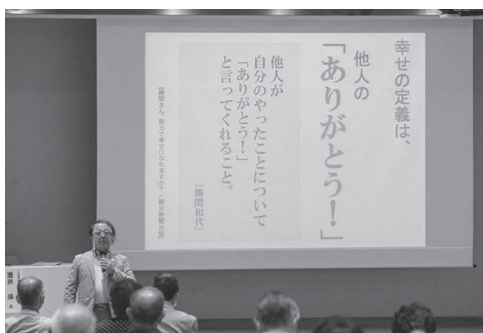
3年ぶりの開催「地域の絆フォーラム2022」

10月4日、ホテルグランド東雲において「地域の絆フォーラム2022」を開催しました。コロナ感染症の影響により3年ぶりの開催となり、地域福祉活動に関心のある180名の方にご参加いただきました。

第1部では、ご近所福祉クリエーターの酒井保氏さかい いたもつから「『つながる喜び・つなげる喜び』～コロナ禍で考える『気にかかけあい地域づくり』～」として基調講演をいただきました。第2部では、赤塚東山ふれあいネットワーク代表の大森哲實氏おおもり てつみ（谷田部東圏域）と豊里の杜ふれあいサロン代表の大倉廣高氏おくら ひろたか（豊里圏域）から、それぞれ地域で行なっている活動の報告をいただきました。



▲ご近所福祉クリエーター 酒井 保氏



▲身近な事例や資料を用いた分かりやすい講演でした

酒井氏の講演では、「フレイル予防には地域づくりの視点が重要」「このような時期だからコロナ禍での活動の工夫を共有し、広げていくことが大切」という話がとても印象的でした。また、シンポジストからはこれまでの経験を踏まえ、地域活動の大切さや関係機関との連携、そして地域住民同士の見守り活動の必要性などの話がされました。

基調講演中には、令和3年度から社協が進めてきた「生活支援体制整備事業」の7圏域の生活支援コーディネーターが紹介されました。

普段はそれぞれの担当圏域で活動しているため、7人全員が地域住民の前にそろう機会はめったになく、貴重な時間となりました。講師の機転の利いた進行とユーモアあふれる話に、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれました。

また今回は、会場の後方に社協が取り組んでいる事業紹介のパネルやパンフレット、居場所づくりなど地域活動の取り組みを紹介する展示物を配置し、参加された皆様にご覧いただきました。

講演いただいた酒井氏を始め地域住民を代表し登壇された2名の方、また、コロナ禍にも関わらずご来場いただいた皆様、ご協力並びにご参加ありがとうございました。今後も社協は、地域の皆様とともに地域活動の取り組みを進めていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いいたします。



▲赤塚東山ふれあいネットワーク 代表 大森 哲實氏

▲豊里の杜ふれあいサロン 代表 大倉 廣高氏



▲会場後方に展示された事業紹介パネル

参加者の感想の一部を紹介します！

- 酒井先生の楽しい語り口に、いつの間にか地域で活動ができるかもと思わされていました。感染対策をしっかりとした中で、3年ぶりに大きな一歩を踏み出した感じがしました。(民生委員児童委員)
- 講演を聞いて「つながりの大切さ」を改めて感じました。また、市内の団体も頑張っている様子が分かりとてもよかった。フォーラム全体を通して「自分が立ち上げた活動は間違いではない」と認識することができ、今後も頑張ろうと思った。つくばには、地域のために活動している方、考えている方がたくさんいることに勇気をいただきました。(地域活動者)
- 酒井先生の基調講演で、これまでの介護予防からフレイル予防に向かうことの重要性を改めて知ることができました。つながりを切れた状態にしないこと、社会参加がとても大切です。第二部の見守りから紡ぎ地域の安心を広げていく活動報告を伺い、できることから始めていけば上手くいくかもしれないと勇気づけられました。その時には、社協のお力添えをお願いいたします。酒井先生の講演時間をもう少し取れるとよかったと思いました。(高齢者施設職員)

みんなでいきいき 支えあう 輝けるまち 大穂

第1回大穂圏域地域支えあい会議を開催しました！

8月23日、大穂交流センターにて令和4年度第1回「地域支えあい会議」を開催しました。

今回は、前回の社協通信でも紹介した「大曾根みんなの食堂」の代表の方を招いて、実際の活動や取り組みについて話をしてもらいました。また、各小学校区に分かれて、自分の小学校区ではどんな取り組みができそうか、どんな取り組みが必要なのか等の意見交換を行いました。

各小学校区によって課題も異なってきます。今後も小地域での話し合いを重ね、地域の支えあい活動につなげていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



今回のトピック！

地域で行われているふれあいサロンを紹介します♪

ひまわり会

ひまわり会は、毎月第2・第4木曜日に前野山木地研修センターにて活動しています。

この日は、健康づくりのためのシルバーリハビリ体操を行っていました。体操といっても激しい運動ではなく、椅子や畳に座りながらでもできる体操でした。参加者みんなで楽しみながら、転倒予防や骨折予防、筋力低下防止、体力の維持・向上のための体操をしていました。また、体操の間の休憩時間には、みんなでおしゃべりをしながら過ごしていました。

体操の他にも、紙芝居を通して健康の大切さを学んだり、輪投げを楽しんでいたりで、興味がある方はぜひご参加ください。



▲熱心に講師の話を聞く皆さん



▲みんなできると体操も楽しい！

コーディネーターのつぶやき

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、コロナ感染症の影響も落ち着いてきたことから、様々な活動が再開され始めたものと思います。

食欲の秋しか縁のない私ではありますが、これからも地域の様々な活動に出向き、地域の支えあいの手助けができるよう努めていきますので、これからもよろしくお願いいたします。



<3・4 ページ担当者>

大穂圏域担当生活支援コーディネーター 小倉

〒300-3257 つくば市筑穂1丁目10番地4
TEL:029-879-5500 / FAX:029-879-5501
Mail:tiki@tsukuba-swc.or.jp